

平成17年度全国大会

「建設産業の未来予測～企業経営者は今何をなすべきか～」

- 日時：平成17年10月31日(月) 13:00～16:00
- 場所：文京シビックホール 大ホール (約1,100名参加)

- ◎主催：(社)建設産業専門団体協議会
後援：国土交通省、厚生労働省
協賛：(財)建設業振興基金、(独)勤労者退職金共済機構、(財)建設業福祉共済団、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)、北海道建設業信用保証(株)、(社)日本建設業団体連合会、(社)全国建設業協会、(社)日本建設業経営協会、(社)全国中小建設業協会、建設業労働災害防止協会 (順不同)

◎開催趣旨

建設投資等の中長期予測によると、ストックを前提にした維持補修の増大が見込まれるものの、新規建設投資の減少が続くことから、建設市場規模は縮小する予測が出ている。近い将来、建設産業にも競争・淘汰の時代がやってくる。建設産業の未来予測を立て、時代が求める量的変化、質的变化に対応するため企業経営者は今何をなすべきかを提起し、技術と経営に優れた企業が生き残れるような建設産業の行方を模索する。

◎開催概要

- ・第一部式典では、山崎善弘大会実行委員長の挨拶の後、来賓を代表して、国土交通省佐藤信秋事務次官、厚生労働省鈴木直和職業安定局長、日建連梅田貞夫会長からご挨拶を頂戴しました。
- ・第二部パネルディスカッションでは、コーディネーターに向井建設(株)代表取締役社長の向井敏雄氏、パネリストに(財)建設業情報管理センター理事長の六波羅昭氏、勝又金属工業(株)代表取締役の勝又貞治氏、(株)掛谷工務店代表取締役の掛谷建郎氏をお迎えし、「建設産業の未来予測～企業経営者は今何をなすべきか～」をテーマとして経営戦略・経営計画の策定、人事戦略の課題と方向、元請下請契約の適正化、元請下請の協力関係について大変有意義な意見が発表されました。
- ・第三部特別講演では、NPO法人失敗学会副会長、サイドローズエルピー代表の飯野兼次氏から「失敗を活かす～生き残るための産業再生～」をテーマになぜ失敗は起こるのか、失敗の原因究明、失敗原因の分類などについてお話しいただきました。
- ・大会は、才賀清二郎大会実行副委員長の挨拶で閉会いたしました。